

第1回 CPS 月惑星探査研究会
(2nd circular)

標記の研究会につき、参加申し込みの〳切が迫ってまいりました。既に多数の熱心な方々よりお申し込み頂いておりますが、ご多忙な中でまだ申し込みを済ませていなかったという方もおられると思います。

1st circular でご案内しました通り、〳切は

11/26(水)

です。まだ間に合いますので、ぜひ奮ってご参加下さい。

参加申込書：以下を適宜書き換え tansa-staff (at) cps.scitec.kobe-u.ac.jp
へ

===== ここから =====

なまえ： はやし よしゆき

名前： 林 祥介

name: HAYASHI Yoshiyuki

身分： 教授

所属： 神戸大学 大学院理学研究科 地球惑星科学専攻

所属 TEL: 078-803-****

所属〒: 657-8501

所属住所: 神戸市灘区六甲台町 1-1

所属 FAX: 078-803-****

email: shosuke@***.***

MEMO: 気象学, 地球流体力学, 惑星大気構造論

懇親会: 参加, 不参加 (該当以外は消してください)

旅費支給を 希望する, 希望しない (該当以外は消してください)

===== ここまで =====

また、講演も「プログラム(案2)」に示しますように時間を割り当てました。ご希望も多く、また討論時間を長くとりたいという会の趣旨もあり、講演時間が短くなりましたことご容赦下さい。ポスターセッションの要望もありましたが、それをゆっくりご覧頂く時間枠の確保が困難です。代わりに、「宣伝ビラとひとことアピール」の時間を設けました。参加者にビラを配布しそれについて

て簡単なアピールをして頂き、休憩時間・懇親会などでの議論につなげて頂こうというものです。これをご利用になりたい方は、主催者までお知らせ下さい（11/26×切）。

趣旨

日本の月惑星探査について JAXA だけでなく大学等も含めて、様々な分野の研究者が集い、批判的意見も含めて様々な観点から議論し、今後のわが国の月惑星の戦略を協力して考えるきっかけとなる場にすることを想定しています。今年度は、火星探査を例にとりて、談論風発の会にしたいと考えています。皆様の御参加を歓迎いたします。

場所： 神戸大学工学部 C 4201 室

プログラム（案 2）

12/05（金）

- 13:10 開会・歓迎の挨拶（渡部重十）
- 13:15 日本の惑星探査、過去・現在・未来への RM（中村正人）
- 13:35 次期火星探査 WG 立ち上げの経緯と現状、海外動向（佐藤毅彦）
- 13:50 検討状況：気象オービター（今村剛）
- 14:05 検討状況：大気散逸オービター（寺田直樹・関華奈子）
- 14:20 検討状況：軌道計画（尾川順子・JSPEC 研究開発室）
- 14:35 「宣伝ビラ」とひとことアピール
- 14:45 休憩
- 14:55 プレゼンテーション(1)（15+25+25+15+15 分）
（司会：鈴木睦・上野宗孝）
- 14:55 火星気象シミュレーション：現状（高橋芳幸）
- 15:10 オービター搭載サブミリ波サウンダー（笠井康子・黒田剛史）
- 15:35 地上観測：中間赤外線とサブミリ波（笠羽康正・中川広務）
- 16:00 火星溶岩チューブ探査（春山純一）
- 16:15 自由帰還軌道によるサンプルリターン（橘省吾・藤田和央）
- 16:30 自由討論
- 18:00 第一日終了
（懇親会）神戸大学六甲台「さくら」

12/06 (土)

09:00 検討状況：ランダー (岡田達明・JSPEC 研究開発室)

09:20 プレゼンテーション(2) (15分×6)

(司会：佐々木晶・宮本英昭)

09:20 ランダーの技術チャレンジと feasibility (JSPEC 研究開発室)

09:35 地震波観測による内部構造探査 (小林直樹・新谷昌人)

09:50 電波源ネットワークによる回転運動計測 (原田雄司)

10:05 地表付近大気組成分析：特に希ガス同位体比 (長尾敬介・杉田精

司)

10:20 Geologic Package のサイエンス (出村裕英・栗田敬)

10:35 火星の大気と海水に関係した固体 (生命体を含む) (三浦保範)

10:50 休憩

11:00 総合討論

12:30 第二日終了